

令和 4 年度 事業報告

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度においても、ロシアによるウクライナ侵略が経済に及ぼす影響や、新型コロナウイルスの影響から回復してく中、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国に対してオンライン講義の提供を行った。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 4 年 4 月 17 日までに 79 大学から 89 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、第 37 期 S G H 奨学生並びに第 2 期 S G H 特定奨学生を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第 37 期 S G H 奨学生：20 名

（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）

年間給付額：2,880 万円（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

氏 名

国籍

大学／学部・研究科

（敬称略・順不同）

グエン フーン クイン

ベトナム

滋賀大学 経済学部

チュ ニャク インタン ヌルル アラ アヴェシエンナ	インドネシア 長岡技術科学大学 工学部
ゴー カイン リン	ベトナム 新潟県立大学 国際地域学部
グエン フォン アイン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
ルオン ティー アイン	ベトナム 名桜大学 国際学群
グエン バン チャウ	ベトナム 秀明大学 総合経営学部
テイ ガイリン	マレーシア 青山学院大学 総合文化政策学部
チャン ノ ゴック フェン	ベトナム 拓殖大学 商学部
レイチェル コー イー ロウ	マレーシア 福井工業大学 環境情報学部
グエン ゴック トウック	ベトナム 龍谷大学 文学部
チャン チョン ホップ	ベトナム 羽衣国際大学 現代社会学部
ドアン チャン ティ アイン トウ	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
アルディ アニンデヤワン ストリスノ	インドネシア 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
チャン バン チュン	ベトナム 岐阜大学大学院 自然科学技術研究科
レ ティ タオ	ベトナム 鹿児島大学大学院 農林水産学研究科
ジハード ラフマワン	インドネシア 岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科
グエン ハイ ザン	ベトナム 福井工業大学大学院 工学研究科
グエン ティ ベト フォン	ベトナム 名古屋市立大学大学院 経済学研究科
チョウ ジー イン	シンガポール 早稲田大学大学院 国際コミュニケーション研究科
チュオン ティ ハウ	ベトナム 嘉悦大学大学院 ビジネス創造研究科

第2期SGH特定奨学生：4名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：864万円（令和4年4月～令和5年3月）

氏名	国籍 大学／研究科（敬称略・順不同）
ブウイ バン ズイ	ベトナム 帯広畜産大学大学院 畜産学研究科
グエン リ キム チー	ベトナム 滋賀医科大学大学院 医学系研究科
アウン フィヨ ワイ	ミャンマー 島根大学大学院 医学系研究科
オム ソマラ	カンボジア 東京農業大学大学院 地球環境科学研究科

第36期SGH奨学生：20名

（一人当たり月額12万円、給付期間2年間）

年間給付額：2,880万円（令和4年4月～令和5年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
ケルビン ユー	マレーシア 宇都宮大学 農学部
タン ジェン シン	マレーシア 都留文科大学 文学部
グエン ホン フオン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
アリファ アッザーラ	インドネシア 拓殖大学 国際学部
メロディー ラオ チウ イイ	マレーシア 明治大学 経営学部
エンジェリン タン アンチー	マレーシア 立教大学 異文化コミュニケーション学部
レー ティー トゥイ リン	ベトナム 福井工業大学 環境情報学部
フン ティ ビツ ニュー	ベトナム 日本福祉大学 国際福祉開発学部
シスワン マッチマ	タイ 京都精華大学 マンガ学部

インダ ウランダリ	インドネシア 大阪産業大学 工学部
グエン レ ジエム	ベトナム 天理大学 国際学部
レ フオン リー	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
グエン ティ フオン ティ	ベトナム 吉備国際大学 農学部
ルアンシン スパナート	タイ 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部
ジョセリン アン サワリ ナタン	マレーシア 福島大学大学院 共生システム理工学研究科
ティーム チャンソワンダー	カンボジア 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院
ニコー シュ セン デイー	マレーシア 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
ソー タンダー アウン	ミャンマー 岡山大学大学院 自然科学研究科
ヴー ティ トゥイ バン	ベトナム 徳島大学大学院 創成科学研究科
ゴ スアン ドック	ベトナム 東京農業大学大学院 国際食料農業科学研究科

第1期SGH特定奨学生：5名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：1,080万円（令和4年4月～令和5年3月）

氏名	国籍 大学／研究科（敬称略・順不同）
アッチャラーパン ワンロップ	タイ 帯広畜産大学大学院 畜産学研究科
フン ニャット タン	ベトナム 長岡技術科学大学大学院 工学研究科
リリー シティ ソリハ	インドネシア 金沢大学大学院 自然科学研究科
ソム ソクリ	カンボジア 東京農業大学大学院 農学研究科
ホ マン トウン	ベトナム 立命館アジア太平洋大学大学院 アジア太平洋研究科

(2) 奨学生採用証書授与式

第 37 期 S G H 奨学生ならびに第 2 期 S G H 特定奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時 令和 4 年 10 月 17 日（月）12:00～13:00

場 所 ホテルグランヴィア京都

内 容 第 37 期 S G H 奨学生・第 2 期 S G H 特定奨学生採用証書授与式

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2022 年度版 アジアの和」

第 37 期 S G H 奨学生並びに第 2 期 S G H 特定奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 36 期 S G H 奨学生並びに第 1 期 S G H 特定奨学生の私の夢について掲載、令和 4 年 10 月に 250 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 36 期 S G H 奨学生・第 1 期 S G H 特定奨学生 研究成果・感想文集

令和 5 年 3 月に卒業・修了した第 36 期 S G H 奨学生並びに第 1 期 S G H 特定奨学生の研究成果・感想文集を令和 5 年 2 月に 240 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 34 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 4 年 6 月 30 日までに 82 機関から 171 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：25 件 金額：2,500 万円（1 件当たり 100 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	（敬称略・五十音順）
安部 佳亮	筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻大学院生・ 日本学術振興会特別研究員	
	リンパ腫内の新たな免疫細胞の同定とその意義の探索	
魚嶋 晴紀	北里大学医学部消化器内科学講師	
	<i>Clostridium</i> 属菌が惹起する肝がんへの進展メカニズムの解明	

大澤	毅	東京大学先端科学技術研究センターニュートリオミクス腫瘍学分野特任准教授 がん代謝ヘテロジェネイティを克服する治療法の開発
大谷	理浩	岡山大学病院脳神経外科助教 神経膠腫の構造的脆弱性とメチオニン代謝に着目した新規免疫療法の開発
荻原	秀明	国立がん研究センター研究所がん治療学研究分野分野長 子育て世代の難治性がんを克服するための合成致死治療法の開発
小田	裕香子	京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門主任研究者（独立准教授） 抗 EMT (Epithelial-mesenchymal transition) 活性を持つ新規生理活性ペプチドによる浸潤・転移がん制圧
肥川	和寛	聖マリア病院外科医師／九州大学大学院臨床・腫瘍外科共同研究院 プロリン異性化酵素 Pin1 をターゲットとした、腫瘍免疫制御による新しい膀胱癌治療戦略の開発
五島	悠介	千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学助教 ゲノム編集を利用した癌横断的な合成致死遺伝子の探索
小村	和正	大阪医科薬科大学医学部泌尿生殖・発達医学講座泌尿器科学教室講師・研究支援センタートランスレーショナルリサーチ部門副部門長 世界最大の日本人膀胱がん包括データセット構築と人種間 Pathogenic Variant 差異の解明による 新規治療ターゲット創出
清水	孝洋	京都大学医学部附属病院内視鏡部助教 化生性病変からの胃発癌過程におけるゲノム、エピゲノム異常の統合的解析
田中	広祐	国立がん研究センター先端医療開発センター免疫 TR 分野研究員 ミトコンドリアストレスによるがん免疫応答機構
長崎	譲慈	岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学分野助教 腫瘍微小環境の T 細胞クローン進展に基づいた新たなメモリー関連因子の解明
西田	奈央	早稲田大学高等研究所講師 腫瘍随伴マクロファージの分極化過程における腫瘍促進性獲得の分子スイッチの特定
羽澤	勝治	金沢大学新学術創成研究機構准教授 相分離が確立する新規放射線抵抗性機序の解明とその制御
畑	昌宏	東京大学医学部附属病院光学医療診療部特任臨床医 スキルス胃癌の腫瘍免疫微小環境解析と新規治療薬剤の創出
林	眞理	京都大学大学院医学研究科先端・国際医学講座 IFOM-KU 国際共同ラボ客員准教授 独自のレポーターシステムを用いた姉妹染色分体融合抑制因子の探索

林 嘉宏	東京薬科大学生命科学部生命医科学科腫瘍医科学研究室准教授 難治性血液がん発症に関わるミトコンドリア異常と自然免疫・代謝・エピゲノム異常のクロストーク
日野 俊哉	東京大学医学部附属病院輸血部助教 EVI1 高発現白血病における白血病維持機構の解明
平林 茂樹	九州大学大学院医学研究院プレジジョン医療学分野助教 マルチオミックス解析による家族性骨髄系腫瘍の発症機序解明
藤田 幸	島根大学医学部医学科教授 グリオーマのエピゲノム制御法の開発
藤原 英晃	岡山大学病院血液・腫瘍内科助教 免疫細胞性組織障害における新規細胞死を基にした「免疫反応への組織耐性」導入と抗腫瘍効果向上の試み
宮脇 哲	東京大学医学部脳神経外科講師 Deep learning による髄膜腫病理組織像解析と遺伝子解析の統合による再発予測モデルの作成
安田 貴彦	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター高度診断研究部室長 多層オミックス解析による成人急性リンパ性白血病の分子病型分類
安原 崇哲	東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター放射線分子医学部門助教 血液腫瘍におけるアクロセントリック染色体転座発生機構の解明
渡辺 隆太	愛媛大学医学部附属病院泌尿器科助教 シングルセル解析を応用した神経内分泌前立腺癌分化機序の解明と治療法開発

(2) 第4回SGHがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和4年6月30日までに23機関から23件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：600万円（1件当たり50万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
明石 和子	徳島大学大学院保健学研究科保健学専攻(看護学領域)博士前期課程 治療過程における造血器腫瘍患者が捉える治療の潮時	
岩井 慧莉	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター看護師 肝胆膵手術における皮膜剤塗布による創部スキントア(皮膚裂傷)の予防	
大原 あかり	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端基盤看護科学講座看護倫理学分野修士課程 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の支援を受けた進行消化器がん患者のACPに関する経験と要望	
岸 達也	東京医療保健大学東が丘看護学部助教 AYA世代における骨髄ドナーに関する認識	
北坂 美津子	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター副看護部長 思春期・若年成人(AYA)・早期壮年期世代がん患者のアンメットニーズに対する支援フローの構築	
田島 瑞穂	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻包括ケアサイエンス領域看護科学高度実践看護開発学講座博士後期課程 インターネットによるがん患者支援の利用とその有用性と課題	
立花 玲華	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター看護部手術センター看護師 全身麻酔下開腹肝胆膵悪性腫瘍手術におけるディスポーザブルリトラクター使用時の皮膚障害予防の検討	
谷村 弥生	岡山大学病院臨床遺伝子診療科／新医療研究開発センター看護師 BRCA1/2 病的バリエント保持者が自身の経験を通して遺伝カウンセリングに求めるもの	
中村 成美	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程高度がん看護専門看護師コース 遺伝性乳がん患者のリスク低減卵管卵巣摘出術に関する意思決定における情報ニーズ	
並木 瑠理江	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群看護科学学位プログラム博士前期課程 がんで親を亡くした子どもの死別から現在までの体験に関する質的研究 ―緩和ケア認定看護師の見地から終末期がん患者の家族ケアを考える―	
藤田 裕子	姫路赤十字病院遺伝診療部乳がん看護認定看護師・認定遺伝カウンセラー 遺伝性乳癌卵巣癌症候群における健康管理支援ツールの開発	
安永 浩子	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター呼吸器腫瘍科病棟看護師長 がん看護専門看護師 化学療法を受ける肺がん患者に対するセルフモニタリング冊子を活用したセルフケア支援の有用性	

(3) 第20回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者

及び医療従事者の推薦を、医学部を有する大学、学会、がん診療連携拠点病院等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和4年6月30日までに14件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
宮城 悦子 氏	横浜市立大学医学部産婦人科学教室主任教授 卵巣がんの新規腫瘍マーカー開発と実用化研究および子宮頸がん予防に関する社会医学研究	
吉野 孝之 氏	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院副病院長（研究担当）・消化管内科科長・医薬品開発推進部門長 大腸がん薬物療法の世界的標準治療の確立とがん個別化医療の開発・研究	

(4) 第20回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNSコースを有する大学、学会、看護協会等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和4年6月30日までに4件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
河俣 あゆみ 氏	三重大学医学部附属病院「小児・AYA がんトータルケアセンター」副センター長・看護師長・小児看護専門看護師 小児期および思春期・若年成人（AYA世代）のがん患者さんを対象とした、他職種および地域多機関と連携した包括的サポートの実践と支援拠点づくり	
藤田 佐和 氏	高知県立大学看護学部教授・看護学部長 がんと認知症を併せもつ高齢がん患者の統合ケアモデルの開発	

(5) 授与式・授賞式の開催

第34回SGHがん研究助成金受領者、第4回SGHがん看護研究助

成金受領者を対象とした授与式、第 20 回 S G H 特別賞授賞式、第 20 回 S G H 看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 5 年 1 月 12 日）に掲載した。

日 時	令和 4 年 12 月 3 日（土）11:00～12:30
場 所	ホテルグランヴィア京都
内 容	第 34 回 S G H がん研究助成金授与式 第 4 回 S G H がん看護研究助成金授与式 第 20 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

(6) 研究成果報告集の刊行

第 33 回 S G H がん研究助成金受領者、第 3 回 S G H がん看護研究助成金受領者及び第 19 回 S G H 特別賞受賞者、第 19 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和 4 年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2022 S G H がん研究報告 Vol.33」を令和 5 年 3 月に 1170 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第 21 回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 5 年 3 月 24 日）に掲載した。

第 21 回市民公開講座

「がん免疫療法の進歩：科学的根拠と最新情報」

日 時 令和 5 年 2 月 23 日（木・祝）13:00～15:45

講演（各 30 分）

「がん免疫療法開発の歴史と現況、そして未来を展望する」

富樫 庸介 氏

（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍微小環境学教授）

「免疫チェックポイント阻害薬が有効ながん種は？その副作用は？」

林 秀敏 氏

（近畿大学医学部内科学腫瘍内科特命准教授）

「がんゲノム医療における免疫チェックポイント阻害薬の出番は？」

金井 雅史 氏

（京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座准教授）

パネルディスカッション（60分）

モデレーター：平岡 眞寛 氏、小西 郁生 氏

パネリスト：富樫 庸介 氏、林 秀敏 氏、金井 雅史 氏

コーディネーター 平岡 眞寛 氏（京都大学名誉教授／日本赤十字社和歌山医療センター
名誉院長／宇治徳洲会病院院長補佐）

小西 郁生 氏（京都大学名誉教授／国立病院機構京都医療センター名
誉院長）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 2136 名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

協 力 SG ホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

(2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 42 名並びに公共事業運輸省職員及び物流業に従事する社会人 51 名に下記のとおりオンライン講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 4 年 5 月 16 日（月）～5 月 20 日（金）、5 月 31 日（火）
アーカイブ配信 令和 4 年 5 月 30 日（月）～6 月 3 日（金）

内 容 第 5 期ラオス物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生 221 名に下記のとおりオンライン講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時	令和 4 年 7 月 11 日（月）～7 月 15 日（金） アーカイブ配信 令和 4 年 7 月 25 日（月）～7 月 31 日（日）
内 容	第 7 期ベトナム物流集中講義 物流概論、物流オペレーション

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：7名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長 佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社総務部秘書ユニット 参事
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター名誉院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
理事	堀江 未来	立命館大学グローバル教養学部教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	はばたき税理士法人代表社員

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：5名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科特任教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	武 藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・ 医学研究所長 京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社代表取締役

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：9名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社理事
顧問	河野 伊一郎	独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 倉敷芸術科学大学学長顧問 岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	藤田医科大学がん医療研究センターセンター長
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	医療法人財団順和会赤坂山王メディカルセンター 国際医療福祉大学医学部血液内科学教授
顧問	三嶋 理晃	京都大学名誉教授
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月23日 (みなし決議)	第37期SGH奨学生及び第2期SGH特定奨学生採用決定の件	承認
令和4年6月13日	令和3年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	選考委員（SGH奨学生・SGHがん研究助成・SGHがん看護研究助成・SGH特別賞・SGH看護特別賞）選任の件	承認
	SGホールディングス株式会社定時株主総会における議決権行使の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告

令和4年9月20日 (みなし決議)	第20回SGH特別賞受賞者決定の件	承認
	第20回SGH看護特別賞受賞者決定の件	承認
	第34回SGHがん研究助成採択決定の件	承認
	第4回SGHがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和5年3月28日	基本財産繰り入れの件	承認
	令和5年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	職務執行状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年6月29日	令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	令和3年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① SGH奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月9日	第37期SGH奨学生の選考に関する件、 第2期SGH特定奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② SGHがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年9月2日	第34回SGHがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ SGHがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年8月26日	第4回SGHがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ S G H特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年8月12日	第20回S G H特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ S G H看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年8月10日	第20回S G H看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和4年6月23日	変更の届出
令和4年6月30日	事業報告等の提出
令和5年3月31日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

公益財団法人S G H財団